

バングラ
デシュ

もうすぐ子ども授かります

モニラさん

日本語はまだ苦手

私の名前はモニラ。光るとか輝くという意味があります。バングラデシュのユミラ市で生まれました。学校は首都ダッカのビジネススクールに通いました。

夫は高校時代の同級生。昨年結婚しました。その時夫は日本滞在がすでに七年目で、結婚後もすぐ日本に行きましたが、私は一年間バングラデシュにとどまって、義父母の世話をしました。日本に来たのは今年の二月です。

今は、夫のやっているバングラデシュ料理店「ベンガルキッチン ティフィン」で一緒に働いています。でも十一月には赤ちゃんが

生まれる予定なので、しばらく休むことになるでしょう。女の子が生まれるといいな、と思っています。

夫の名前メヘデイは植物の名前に由来します。夫の弟も今ちょうど静岡英和学院大学に留学しています。名前はモミン。信じる、という意味です。(モニラさんはまだ日本語があまりできないので、このインタビューはモニン君が通訳してくれました)

静岡の印象

成田空港からまっすぐ静岡に来たのでほかのところは知りませんが、静岡はとにかく安全なところがいいですね。政治も安定しているし、夜、一人で外に出られる。バン格拉デシュでは怖いし、そもそも女性が一人で外出することは少ないです。

ダツカは車の渋滞がひどくて、十五分のと

ころで一時間かかったりすることがありますが、静岡はそれもない。バン格拉デシュでは停電がしょっちゅうでしたが、こちらでは安定していて、それもありがたいと思います。

静岡のひとたちはみんなあたたかいです。日本語の勉強のためにも、もつと日本人とお付き合いたいのですが、なかなか……。以前バン格拉デシュに住んでいたという女性がよく店にきてくれますが、彼女とは英語で話しています。

静岡での暮らし

バン格拉デシュも靴を脱いで上がる生活でしたので、日本の住まいに違和感はありません。今の住まいも便利です。ただ、物価の高いのには驚きましたね。その分、時給も高いのですが。

衣類は両親がまとめて送ってくれますが、

日本で買うことも。このスカーフですか？これはブーコーラといって、きちんとした服装には欠かせません。首にかけて垂らして体の線を隠したり、信心深い人は頭に巻いたりします。

今静岡にはバン格拉デシュ人は五〇〇六〇人くらいいるので、お付き合いはその人たちが主ですね。女性はだいたい結婚して夫についてきた人たちです。

私たちはムスリムなので、ハラールフードが必要なのですが、JR静岡駅のすぐ南にそういう店があったので困ることはありませんでした。肉はみんなそこで買います。

一番懐かしく思うのは果物です、日本では食べられませんから。たとえばジャックフルーツとかね。日本食で好きなのはお寿司。

バン格拉デシュ料理のおすすめはビリヤニです。チキンビリヤニ・ビーフビリヤニなど

いろいろあります。ここの店の人気メニューはタンドリーチキン丼。安くておいしいですよ。

バン格拉デシュの女性

教育も仕事も、女性はまだまだ機会が少ないです。私の行っていたビジネススクールには女性も多かったのですが、それは首都だから。日本ではコンビニでも学校でも全国同じようにありますが、バン格拉デシュは、ダッカとそれ以外のところでは全然違って、ダッカは別世界なのです。

でも最近はユニクロの工場などが進出してきていて、女性の働き口も増えています。以前は未成年結婚が多かったのですが、それも最近は減っていますし。とにかく、女性にはもつと教育を受けてほしいと思います。

生まれてくる子どもの名前？まだ考えてい

ません。バン格拉デシュでは、子どもが生まれたら、一週間以内に親戚がみんな集まってお祝いをします。そこで名前の候補をみんなでいろいろ挙げて決めるんです。

そのほか、一〇歳になるまでに牛一頭をささげる儀式をやります。これは子どもを授かったお礼という意味で、私たちでなくて祖母がやってもいい。

静岡の女性の印象

家の中をきちんとさせていたり、きれいな好きなところはおんなじかな。ただ、子どもに対する注意が少ないようなところが気になります。横断歩道を渡るのに手を引かないとか。あと、もっと抱きしめてあげればいいのに、と思うこともありますね。

(聞き書き 佐久間)



左から モミン君 モニラさん メヘディさん



韓国

静岡での生活満喫中、でも時々…

大橋 たみさん



お国自慢

わたしは大橋たみと言います。

韓国ソウルの出身です。高校を卒業後、一九八三年に観光専門学校に入学するため日本に来ました。知人がいた沼津に滞在。

私の育ったソウルは、とても刺激的な街でしたよ。活気があり誰もが前向きに生きていたように思います。まず地震がないこと。それになにより食べ物がおいしかったですね。

ジャガイモ・人参・豚肉など入れたジャジャ麺は国民食と言えるほどだし、キムチ用にはほど良い所で醗酵を止めて一年位は保存でき

る冷蔵庫がある。冷蔵庫は大きさもいろいろで、東京でも買えますよ。トッポギは材料の質によるのか、みんな味が違う。焼き肉だつてとにかくタレが違う。各家庭・各店ごとに独特のおいしさがあつて、素材もイイイダコ・ワタリガニ：限りなくおいしい物があるよ。

静岡の冬は、気温としては生まれ育つた所より暖かいのに、家の中では炬燵で寝たりするほど寒かったり、夏は夏で湿気が多かったり、苦労しましたね。が、街中は清潔でゴミがなく、人々は静かでのんびりでしたから、穏やかな気持ちで生活できました。

山、海、川など自然が美しいし、お茶やミカン等の果物が豊富だし、特に山の好きな私には、いい山がたくさんあつて嬉しいかぎりです。静岡の一番好きなのは、人と山との出会いがあつたこと、といえそう。

私を解き放つ山々

自然と向き合っていると、いつの時でも一体感が生まれるようで、なんとも言えない喜びを感じてしまいますね。屋久島から北海道まで歩いているよ。

だから、南アルプス聖岳は百名山の中でもかなり体力を要する山だけど、その『聖平小屋』で三カ月働いて自然を満喫してる。鳥の声、一週間ごと替わる高山植物。今年は、小屋での休日に歩いている時、マイタケの大株を見つけて、これにはびつくり。

人が入る事の少ない南アルプスの深南部では、三〇キロほどの荷物を背負い、登山道を探して歩く強行軍の登山もしています。近隣の山では、安倍川の水源地のある安倍峠から竜爪山までの五〇kmを十二時間くらいかけて

走破したこともあります（息子は、玉川トレールランニング大会で総合優勝の快挙をなしています。）

山の恵みをいただいたこともあります。知っていますか！一五〇〇メートル以上の高さでしか見られないコシアブラ（またの名を酒屋の娘ともいい 山菜の女王とも言われている）の新芽を摘むこともできましたよ。

ああ、ほんとに山が好き。山の話はとどまることなく出てきます。

今は、マンションに夫と二人で暮らしています。子育ての時、店をやっていた時などは、たくさんの方に助けてもらいました。

最近山に行く時は、道の駅で新鮮な野菜、季節の果物などを買うのが楽しみです。近所には、無人販売も多く、朝は散歩をしながら買い物を楽しんでもいます。山で山菜やキノコなどの山の恵みを頂いたときは、友人を自

宅に招待してホームパーティを開いたりもします。

韓国の女性と日本（静岡）の女性

今と昔ではずいぶんと違うと思います。韓国の男性は、亭主関白で気が短い人が多く、わたしの母も苦労していました。今は男性が優しくなり、女性は、自分の自由な時間もできて楽になつていると思います。静岡の女性は 自分は自分、人は人といった考え方が多いけれど、韓国の女性は、せっかちで世話を焼くのが好きだと言えます。韓国の男性は肉食系・日本の男性は草食系とも言えます。

韓国ではクリスマス・お盆・正月などとても賑やかで楽しいので、この時期になると帰りたくなります。数年に一回以上は帰省しています。

これからも静岡で家族や仲間が皆健康であること。自分の趣味の大好きな大好きな登山やスキーなどを長く続けていければ幸せです。困ったり悩んだりしている人の役に立つことが出来たらさらにうれしいし、相談にものりたい。

(聞き書き 入江)





タイ

明るく笑って暮らす

カムさん&ヨーさん



カムさん

カムさんは
タイの陽気な
おばちゃん

私は日本に
来てもう二十
年になります、
今六十歳です。

日本語、あまりよくできません。友だちが東京のタイ料理の店で働いていて、日本に來な
いかと誘われて来てしまいました。働き場所

は、静岡のタイ・オーキッド。

生まれ育ったのはチェンマイからバスで三時間かかるパーヤオという村です。五人兄弟です。もち米、野菜、果物を作っていましたよ。年をとってきたのでパーヤオが懐かしく、帰りたいと思うことが多いです。日本はいいです、パーヤオは貧乏です。でもタイ人みんな、私みたいに明るく笑って暮らしていますよ。

タイ料理もいろいろ

パーヤは野菜料理、カレーが美味しいよ。美味しくて辛い。辛いつてのが美味しいの。

タイ料理といっても、パーヤオ、イサーン、バンコック、地域によつてみな違う。

知り合いのヨーさんが時々来て手伝つてくれるから助かるよ。ヨーさんは日本の男性と結婚して、日本に住んで長いし、子供たちもいるので、日本語も良くできるから聞くとい

いよ。
というわけで日本語の上手なヨーさんに聞いてみました。

ヨーさんはしつかりもののお母さん

私はタイの南の海の近くで生まれたけれど、小さい頃にバンコクに移りました。高校を終えてからは、しばらく姉が教えていた美容学校で化粧やエステの手伝いをしました。少ししてからイサーンの両親のもとへ帰って、商

売の手伝いをしました。その頃に夫と知り合つて結婚して、日本に来ました。二三歳でした。今はもう五十歳です。

苦労もあつたけれど、子どもたちがいたから頑張れた

言葉もあまり分からず不安でしたが、すぐ子どもが生まれ、子どもや親の世話、夜は内職をしたり、忙しく過ごしました。その親もおじいちゃんの方は九年前に亡くなり、おばあちゃんも入院してます。

子ども達が学校に行つていた頃は、学校の役員もやりましたよ、日本語を覚えられいい機会と思ひました。日本は安全な国だけでも、娘が部活で遅くなるときは迎えに行きました。何かが起きない前に出来ることはやつておきたいと思うのです。心配性という人

もいますが、私はそうしてきました。子どもも成人したので、これから何かやっていききたいという、夢はあるけれど実現は難しいです。

日本に住んで思うことは、親子関係にやさしさが足りないのでは、ということ。親の子への、子の親への思いやりが少ないように思えます。忙しい忙しいと言って親は子どものことを、子どもは親のことを忘れている。私は十二人きょうだいだったけれど、親はいくら疲れていても忙しくても、守ってくれていたと思います。

思ったことはいわなきやダメ

日本の女性はおとなしく見えるけれど、あまり表現しないから本当は何を思っているかがわかりにくい。タイの女性は表裏なく全部言いたいことは言ってしまうですね。言い合

っても後は普通に話します。日本でもパートで働いたことがありますから、女性たちの陰口やいじめも知っています。子どものイジメは親にも問題があるかもしれません。

タイ人だから、今も思ったこと全部言ってしまうましたが、世の中には良い人も悪い人もいますからね。良い人に会うか悪い人に会うかは運です。

(聞き書き

鳥居)





韓国



静岡で友だちいっぱいできました

北野沢 燕さん

夫の転勤で静岡に

私は、今静岡に住んでいます。静岡で子どもを育てながら働く、がんばりやの女性をあちこちで見えるからです。

両親とも中国に住んでいる韓国人です。住民の半数は韓国人の中国吉林省・敦化（トウホア）で生まれ、高校まで過ごししました。

ここは、富士山よりより高い四千メートル級の美しい白頭山（北朝鮮側の呼名）長白山（中国側からの呼名）が見え、素晴らしい景色のところですよ。観光地化されています。四千メートル以上の頂上に大きな綺麗な湖があ

ります。水が滝となって流れ落ちて、それはそれは壮大な眺めですよ。

高校卒業後 延吉（イエンチー）で働きました。その後、留学を決めて日本に来ました。

韓国語はもちろんですが中国語もできたので、日本語は比較的速く覚ええました。

名古屋で日本人と結婚し、その後転勤で三重県の津市に行きました。ここで出会った仕事仲間がよい人たちで、今もつてつきあいがあり、相談にも乗ってくれます。一人で働しながら、子育てしていた女性は、私が身ごもった時には、安産の御札！生まれたらお祝いに赤福！をくれました。ランチしながら楽しくいろいろなことを教えてくれました。

静岡に来て六年になります。街の中にトンネルがあったり、山がすぐ近くにあったりするので驚きました。でも、その山に霧がかかるのを見ると「ああ綺麗だなあ」と思います。

それに魚が新鮮。冷凍商品も中国と違っていい物が多いように思います。スーパーでの買い物も困ることはないし、サービス精神が旺盛。

いろいろなものの値段が高いけど、特に駐車料金には参ります。郊外から街中に出て、散策したりデパートをのぞいたりはしにくいと思います。

がんばりやの静岡女性

津市の女性も親切で優しくったように、静岡の女性も親切です。おつきあいもします。夕食で作った料理の交換をしたり、物をもらったりあげたり。でも相手を尊重しているせいか、時には、ツメタイと思うこともあります。韓国の人よりつきあいが浅い？っていう感じです。

ます。

中国は故郷

日本の女性は働き者が多いです。子どもを育てながら働くし、自分の欲しい物を買わなくてもいいと思っっているような頑張り屋が多いように思います。中国では、主婦しながら働いたりアルバイトしたりする人はいません。一人っ子政策から教育に力を入れています。日本の女性はとてもオープンだと思います。

子どもは今四年生になりました。男の子です。生まれてからずっと、なかなか寝付かなくてとても大変でした。一時間置きに泣き私は殆ど眠れませんでした。今では父親とは友達みたいに仲良しで、ゲームに夢中の少年になりました。学校から手紙であれこれ持ち物を言ってきますが、難しいです。週末夫婦（日本語では単身赴任）なので子どもも寂しいと思います。

今、私は、学校の役員を引き受け、お母さんたちと会話も弾み、友だちが出来てきてい

中国が懐かしい。友だちがたくさんいます。いつも、こちらの近況をメールしたり友人からのメールやお知らせを読んだりしています。夫の両親の元へは毎年出かけて、孝行しますが、故郷にも二、三年に一度帰ります。静岡から上海を経由して北京まで行き、両親の居る延吉（イエンチー）まで行きます。名古屋まで行かないで、静岡から北京に直行便があればと思います。

来日してからもう十年以上になります。韓国語や韓国料理を介して、出来たら静岡のみんなと友好を深めたいと思っています。先日静岡市内で開いたキムチ作りの講座は好評でした。とてもうれしかったです。ぜひ私を講

師に呼んでくださいね。

(聞き書き 入江)



燕さんの“韓国ナビ”講座

韓国語の講座でしたが、参加している女性たちからは、ハングルを憶えるより“料理を作って食べたい”という声が多くあり、今は韓国料理体験講座になっています。燕さんと韓国に行こうという計画もあるようで、そろそろハングルの学習に入る予定です。

参加費 500 円＋材料費

会場 エコハウスしずおか 静岡市葵区竜南 1-6-92

開催 ほぼ毎月 1 回（日程はお問い合わせください）

連絡先 054-209-8555

エコハウスはリサイクルショップと各種講座を開催している、ボランティア運営施設です。



インド



にほんご一年生、将来は通訳

サハ・モウピヤさん

日本に留学

インドのコルカタ出身です。モウピヤというのは、日本語で何と言ったらいいのか……、SWEET っていうのが一番近いでしょうか。

日本に来たのは昨年ですが、静岡の国際ことうば学院に入ったのは今年四月なので、まだ一年生です。なぜ静岡？といえば、インドで日本語を習っていた先生に国際ことうば学院を紹介されたからです。静岡は好きですが、同じ学年にベンガル語を話すインド人がいないのでさびしいですね。クラスでは私一人だし、学校全体でも四人だけ。しかも私以外は三人とも男性なんです。

インドでの留学先はやっぱアメリカとイギリスが多いんですが、最近はオーストラリアも人気です。

コルカタでは大学で世界史を専攻していました。でも、日本語ができると就職に有利なので、日本語を学ぼうと留学したのです。私が日本を選んだのは、父が日本に来たことがあって日本の文化や文学が好きだったから、その影響もあるかな？

日本語の難しいところ？ やっぱ漢字は難しいです。面白いのは同音異義語。彼とカレーを聞き間違えたり。日本語にはたくさんありますよね。ベンガル語にはあまりそういうのはないんです。

寮での暮らし

今は学校の寮で生活しています。だから日

本の事情とかはまだあんまり知りません。日本人はシャイなところが私たちと似ているかな、と思います。

静岡で暮らし始めて一番困ったのは、自転車に乗れなかったこと。コルカタではもっぱら自動車でしたからね。今は乗れますよ。でもそれまでに何度も転んで、練習して、大変でした。

インドの食べ物で懐かしいのは、母が作ってくれる川魚料理。川の魚は甘いんですよ。海の魚はちよつと酸味があるような気がします。

いま寮で同室の人が完全なベジタリアンなので、ふだん寮で自炊するときには私も一緒にベジタリアン料理を食べます。で、外出すると鶏や卵料理を食べる。私は牛肉も豚肉もダメなんです。牛が食べられないのはヒンドゥーだからですが、豚は単に嫌いだから。で、

メニューをずっと見渡して、鶏料理を探します。

ことは学院の学生を国別にみると、多いのはミャンマー、ネパール、ベトナムなどですね。私の一番の仲良しはベトナム人です。初めは英語で話してたけど、今はお互い日本語。彼女、とっても日本語が上手なんですよ。みんな外国生活でさみしいから、自然と仲良くなるんですね。今日も卒業生の誕生日をみんなで一緒に祝いました。

インドの若い女性は今…

インドでは高校まで義務教育です。小学校から英語で授業することが多くなっていますね。私立学校は特にそう。もちろん、ベンガル語の授業もありますけど。日本の国語の授業のようなものでしょうか。基本的に教師は

全部英語です。それで、卒業までにはだいたいみんな、ヒンドウー語、ベンガル語、英語が話せるようになっていきます。

インドの女性ファッションはずっと、独身ならサルワカミーズ（スリットの入った長いチュニック、同色のズボン、スカーフの3点セット）、結婚するとサリーだったんですが、だんだん結婚してもサルワカミーズの人がふえてきました。動きやすく、仕事がしやすいですからね。で、カミーズ（チュニック）の下にジーンズをはいたりします。

女性の仕事も増えていきますし、将来結婚しても共働きしたいと考えている人が多いんじゃないかな。結婚年齢も上がってきています。

将来は日本語通訳に

インドの女性の職業は教師が多いですね。

でも私は、世界史は好きだけれど先生になるつもりはありません。ことば学院を卒業したら、次は日本で博士号をとりたい。そして将来はインドで日本語通訳になろうと考えてい

ます。

両親は早く帰ってきてほしいみたいです。インドに恋人がいるので、帰ったら結婚します。



（聞き書き 佐久間）



フィリピン



日本とフィリピンの架け橋になりたい

山下メリンダ

自己紹介

名前は、山下メリンダです

私は、フィリピンのミンダナオ島、ダバオ市出身です。でも、マニラで四歳頃から育ちました。四人姉妹です。

マニラは都会で、ビルが建ち並び、人がいっぱい！。でも郊外に出れば海とビーチが美しい街。シーフードがおいしいですよ。イントウラムロスという街にある教会サンアグスチンは世界遺産で有名ですし、スペイン風の街並みが残っています。

国際結婚のいきさつと現在

日本の人と結婚して静岡に来ました。結婚してもう二五年になります。バンド演奏をやっている所へ出かけた折、友人に紹介され今の夫と出会い、交際が始まりました。彼は休みになるとフィリピンに遊びに来たし、国際電話やメールでの会話も、たくさん、たくさんしました。それが二年くらい続き、ハッピー・ハッピーになりました。

家族は夫、娘、祖母の四人。ずっと四で暮らしていましたが、今年、娘が国家試験に合格し、新潟日本歯科大学でインターンとして勤務し始めたので三人の生活になりました。祖母は、三日間デイサービスを受けていて、自宅で私と夫で介護しています。

夫は、「子育ては礼儀正しく」と言い、とてもしっかりしています。日本語などの先生も

しています。食事はほとんど日本食ですが、時にはフィリピン食も食べます。フィリピン料理で懐かしいのは、アドボ（豚肉とタマネギを炒め、醤油・酢・ガーリック・調味料で煮た料理）です。

今わたしは、静岡市国際交流協会（SAME）で、多くの人たちとの交流が深まるよう相談員として務めています。アジアから来日した方々の相談を受け、一所懸命頑張っています。

フィリピンの女性について

私が知っていたフィリピンの女性は、家の中にいるのが当たり前で、外に働きに出ることとはとても少なかったです。厳しくしつけられ、カトリックの教えの下で教育されていました。今は男性よりも頑張って働き、男性をリードするくらいになっていると思います。

国内では、九割くらいは結婚すると思いま

す。以前は、女性から「好き」などという告白は出来なかったんだけど、いまは女性からもするし、「デキチャッタ婚」が多いようです。でも仕事が国内には少ないので、海外に出る人たちが増えています。国外での結婚は、四割くらいしか継続できていないと思います。

一番の原因は、習慣・文化の違いですね。結婚後国に送金する助け合いの習慣、「一人だけで頑張らせない」が離婚の原因のようになっています。友人たちの中にも、アメリカ・サウジアラビア・カナダなど海外で活躍し、中には、送金している人もいます。

民族衣装は、サーヤ（女性）とバロング（男性）があります。パイナップルの皮を繊維にして織った服で、ふつうは白色。

静岡の暮らしとこれから

私がハイスクールの時には、日本の女性は家の中の事を世界一よくやるし平等になっている、と学びました。

静岡は、ほんとに住みやすい。山があるし海も近いし、静岡の人たちは温かいと思います。時間が守れないことがあります、優しく接してくれ、ほとんど会話は出来るようになってきたので、買い物や病院と忙しいです。二五年にもなっているのです、おつきあい町内会や自治会も行きます。役員も引き受けやりましたよ。

女性にはありませんが、時には偏見を感じたことがあります。以前ですが、タクシーに乗ったらいきなり「どこのお店？」と言われたり。他のところでは、「違う言葉で喋るな」とか「証明書を見せて」などです。

国の違いをお互いに理解し合って協力して
 いきたいと思っています。そのためにも私は
 日本に来たと思っています。国々の文化交流
 を深め、フィリピンの伝統音楽や踊り・服装・
 遊び・果物・料理など、フィリピンを知っ
 てもらうようイベントや発表会をもっとやっ
 ていくつもりです。

（聞き書き 入江）



静岡市在住 国別外国人数 上位十カ国

順位	国名	総数	うち女性
1	中国	2144	1288
2	韓国・朝鮮	1624	833
3	フィリピン	1153	952
4	ブラジル	733	340
5	ベトナム	376	218
6	ミャンマー	369	212
7	ネパール	234	55
8	インドネシア	225	95
9	アメリカ	171	67
10	ペルー	127	63



中国

すっかり静岡人です

趙雅玲さん



静岡はいいところ

中国は北京の出身です。北京は、有名な天安門広場や故宮博物館がある、中国を代表する歴史ある都市です。

北京で結婚して、夫と子どもの三人で一九八〇年に日本に来ました。夫の母親、私の義母ですが、日本人です。中国で医者をしていましたが、日本に帰ったのがきっかけとなり、私たち三人も日本にやって来たんです。

二四歳まで北京にいたんですが、そのころの北京は、家に錠をかけるということはありませんでした。現在は、二重扉の家に替わっている

んだそうです。ぶつそうになったんですね。北京には海がなく、お茶も作っていません。それに比べて、静岡は海が美しく、美味しいお茶もあり、何よりも、人の暖かさ・親切さ・勤勉さを感じます。のんびりとしたいいところですよ。

日本語を一生懸命に学ぶ

長城飯店を開店して三〇年になります。この店をやっていて、人との出会いがいっぱいあります。わからないこと、例えば、日本の習慣などを、お客さんに教えてもらったりします。友人にも教えてもらいます。子どもからは、女性・男性の話し言葉の違いを教わったりします。

「…を」「…が」「…は」などの使い方や、言葉遣いの間違いは遠慮なく言つてと、常に

人にお願ひしています。自分の気持ちや言葉を表現するのは難しいですが、現在は八〇パーセントくらいは伝わっていると思つていますよ。そして、日本語はちゃんと読めます。日中友好協会で日本語を習い、調理師免許と運転免許を取りました。調理師免許は難しかったですねえ。

日本の食べ物や習慣には、すぐなじめました。義母のおかげです。そして、店のお客さんや友人のおかげ。日本に住んで三〇年以上、中国にいた年月より長くなりました。中国に帰つても、きつともう私には違和感かかないと思います。

男性はもつと家事を

中国の女性は、活発で明るく、言葉は相手に向かつてはつきりと厳しく言います。また、

大声で話します、すべての人ではありませんが。日本人は、直接言わずに裏で言う。直接言うのがよくないこともあるので、日本人のように優しく気づかせるように言うのもいいかな。しかし、日本人は主張しない。アジアの国のなかでは、日本だけね。これは、文化の違いですかね。

日本女性は静かで大声を出さない。冷静です。そして、男性は亭主関白。もつと家庭の手助けをして、協力的になる方がいいと思う。中国は共産主義、給与は男女同じ。男女平等だから、家事も協力するのが当たり前です。

水が美味しく、気候がよく、地理的にも便利な静岡に、これからも住み続けていきたいと思っています。

（聞き書き 大石）





ネパール

家族と一緒に
お祭りを

パンデエ・シータさん

お祭りをみんなで祝う

私の名前はパンデエ・シータ。パンデエが姓、名前がシータ、シータというのは神様の名前です。生まれたのはチトワン。ユネスコ世界遺産になったチトワン国立公園のある所です。そこに高校までいました。結婚してからはゴルカに住み、カトマンズにある日本語学校のマネジメントをやっていました。

来日したのは二〇一一年十月。今、夜は弁当工場でサラダを作っています。夫がネパール・インド料理店「ナマステ」で働いているので、私も時々手伝います。



静岡にネパール人はだいたい二四〇人くらいいます。学生が多いですね。だいたいみんな知っていますよ。この間もティハルというお祭りの日に店に集まって、一緒にお祝いました。

ネパールを恋しく思うのはダサインというお祭りのとき。十月にある、一年で一番大きなお祭りで、遠く離れた土地にいる人もみんな故郷に帰って祝うのです。外国からも戻ってきますよ。日本人にとってのお正月と同じですね。

ダサインのときには、額にティカという赤いしるしをつけます。年上の人が年下の人に祝福しながらつけるのです。親から子、兄から弟という風にね。これまで未亡人は赤ではなくて白、ということになっていましたが、最近はみんな赤にしよう、という声が出ています。

静岡での暮らし

静岡はゴミがなくて、街がとてもきれいですね。夜も安心して出かけられます。ネパールでは夜八時過ぎの女性の外出はとても危険なのです。

日本での暮らしに困ることはほとんどありません。靴を脱いで上がるのはネパールも同じなので、違和感はありませんし。なにより、夫が一緒なので安心です。

日本人は思ったことをはっきり言いませんね。ネパール人は全部言ってしまうですよ。中に溜めておくよりいいんじゃないかな。でも、言わないで我慢して、みんなで助け合うのが日本人のいいところでしょう。

食べ物にちよつと不自由

牛肉が食べられないので、日本に来て初めてのうち、牛肉が入っているのではないかと心配でしたね。苦手なのはシーフード。ネパールは海に接していないので、魚介類を食べる習慣がありませんから。ネパールではヤギ肉が一番おいしいのですが、日本では手に入らないので、食べたくなります。ネパール野菜もいろいろあるのですが、手に入らないので懐かしいです。

この店「ナマステ」のおすすめは、バターチキンカレーとホウレン草のカレーで、日本人に人気です。家でよく作るのはネパールの漬物。キュウリ・ジャガイモ・グリーンピース・大根・レモン・すりごま・スパイス・塩をまぜて作ります。

ネパールの女性

ネパールでも女性がだんだん学校へ行くようになってきました。でも、二二歳くらいまでに結婚して家に入ります。女性の仕事はあまりないのです。働いている女性は一〇%くらいでしょうか。

ネパール女性は日本の女性のように、お酒を飲んだり煙草を吸ったり、ほかの男の人と遊んだりもしません。日本の女性は自由だと思います。ネパールの男性はもつと厳しいですよ。

ネパールでは妻が二人、ということもあります。法律上はもちろん一夫一婦制ですが、実際には二人持つ人もいます。それで、二人が一緒の家に住んでいたります。もちろん全部ではありませんが。

子どもに会いたい

ネパールでは、家族みんな一緒に暮らすんです。日本はそうでないようですね。私たちには八歳と三歳の子どもがいますが、ネパールで夫の両親、夫の兄一家と一緒に暮らしています。

子どもが恋しい。だから将来の希望といったら、一番はネパールに帰って子どもに会いたいということですね。インターナショナルスクールのような、英語で教える学校が静岡にあれば、子どもを連れてきて一緒に暮らすことができるのですが……。これは、静岡にいる外国人みんなの共通する悩みではないでしょうか。

（聞き書き 佐久間）





タイ

主人「作るひと」 私「接待する人」 中野トーンワンさん



父のおかげで村一番の豊かな生活

タイ東北部のヤソトーンで生まれ、一〇歳の頃サコンナコーンに引っ越して二一歳まで過ごし、二三歳で結婚して日本に来ました、今四二歳です。

四人きょうだいで姉と弟二人、家は農家で米や野菜を作っていました。町へ野菜を持って行って売ります、父は頭が良いというか、商才にたけていたので、町で野菜を売ったお金で石鹸など村にはないいろいろな物を仕入れて、村で売りました。良く売れて、家はお金持ちになりました。村一番の豊かな

暮らしぶりです、車も二台、バイクもありました。冷蔵庫もテレビも持っていました。

美容師になつてホテルで働く

小学校四年で終わる人が多いのに、私は高校まで行つてから、美容師学校に行きました。そこで美容師の他にマッサージも勉強して卒業後はホテルの中の店に就職しました。そこではいろいろなことを手伝う機会があり、エステもマスターしました。

そのホテルで夫と出会いました。夫はタイに旅行に来ていて、話をする機会が何度かあつて付き合ううちに、やさしい人だし、タイの男性より信頼できると思つたので結婚を決めました。二三歳の頃です、タイと日本で結婚式をやつて、新婚旅行はヨーロッパに行きました。

結婚して静岡へ

静岡に来て、初めはみずほ（静岡市）のアパートに住んでいました。九年前に夫の父（おじいちゃん）が住む水落町のこの家に引っ越しました。一階はおじいちゃん、二階に私達が住んだのです。

おじいちゃん、年取つたので面倒見ようと思つてきたけれど、同居し始めてまもなく亡くなつて、一階がもつたいないので何かしよう、考えたのがタイマッサージの店です。タイに帰つてマッサージのトレーニングを受けて八年前に開店しました。宣伝もしないから初めはお客さん少なかつた。でも心をこめてやっています。お客さんは年のいった方が多いですね。

タイ料理の店を始めたのは今年（二〇一三

年)の五月から。このタイの古民家風の内装はリフォーム屋さんにも頼んだけど、かなりの部分、主人がアイデアを出して作りました。趣味なんです。料理も主人が作ります。私はサラダくらいは作るけど主人の方が上手です。昔からレストランで手伝ったりして才能があると思う。タイ料理も勉強しました。いいかげんな所があるタイ人と違って、きちんと作ります。安全で良い物を使って、化学調味料も使いませんよ。

調理場では息が合って働けます、何が次に必要か言わなくてもわかるから、仕事がスムーズにやれます。料理を作るのは主人だけど、メニューを考えたり、新しいアイデアをいろいろ考えるのは私ですよ。タイの私の父は商才があったから、それに似たのかなと思います。時々けんかもするけれど、たいしたことありません。

タイ人は親を大切にする

タイと日本で違うなあと思うことの一つは、タイ人は親が一番大切に二番目が子どもだということ。日本人は子どもが一番で親が二番ですよね。仏教が深く関係しています。子どもと同居するのが普通で、老人ホームはあまりないし、恥ずかしいことです。タイを離れてかなり年月がたつので事情は変わっているかもしれませんが、親をとっても大切にするのが当たり前です。

タイの女性も日本の女性もよく働きます。タイの女性はみな明るい、恥ずかしがらないで服も派手なものも平気で着ます。人の目を気にしません。日本人の方が気持ちがいっしょにしています、少し真面目すぎると思います。リラックスした方がいいと思います。

日本の男性は結婚したら家族をまもり、浮気も多くないです。タイの男性は浮気する人が多くて困ります。男が頼りにならないので女性が子どもや親のために、頑張ります。

今が大切

他は知りませんが、静岡は住みやすいです。安全で台風も地震もそれほど多くないです。暖かいといいますが、私には少し寒いです。なにより人が優しいです。

私には中学生の女の子が一人います、お父さん大好きな娘です。私は忙しくてあまり相手が出来なくても、お父さんがいるから大丈夫。

今日を大切に生き、明日を思い、遠くは考えないことにしています。 Day by day !です。

(聞き書き 鳥居)





中国

将来はアジアに向けての発信を

金綺春さん



日本が好き

金綺春（キン・チチュン）といいます。うまれは蘇州。昔は北京官僚の別荘地が多かったところで、世界遺産もある綺麗なところです。四月生まれなので、祖父がこの名前をつけてくれました。中国で小春というのは日本語の花子みたいなイメージで、よくからかわれましたが、日本では「いい名前だね」と言ってもらえます。

高校卒業後、インターシップのホテル専門研修枠に合格し、山形に来ました。雪が珍しくて最初のころは大喜びしたものです。山形の人たちには本当によくしてもらいました。

そこで知り合った社長さんは、静岡で部屋を借りる時の保証人になってくれましたし。山形の人は熱い、です。

その後いろいろあって、二〇〇三年に静岡県立大学に入学しました。東京から近くて国際関係学部のあるところ、ということを選んでのですが、四月、静岡にやってくると桜が満開で、すっかり気に入りました。山形はインパクトがあつて大好きなのですが、静岡はなにしろ住みやすいんです。東京みたいな大都会でもなく、山形みたいな田舎でもなく、いわば中途半端。でもそこがいい。

大学三年のとき「静岡クイーン」に応募して選ばれ、一年間市のPRを手伝いました。その時にたくさんの人と知り合えたし、静岡のことも学ぶことができたので、それが今の仕事を始める時には大いに力になりました。

——ほんとは、ちようど失恋してたんで、そ

の勢いで応募したんですけど、ね。

母が私のロールモデル

卒業後、県内の企業に就職しました。私はたくさんの人と接する仕事が好きなので営業職で入ったのですが、事務仕事が多くて、これは違うな、と辞めました。そして一年間準備して、上海小籠包の店を開きました。今となつてみれば、店を経営するうえであの時の経験も役に立っています。

店の名前「祥瑞（しょうずい）」も祖父がつけてくれたもので、曾祖父が上海に出していた店の屋号「祥瑞堂」からとったそうです。家族も忘れていた昔の屋号を、日本で復活できたのはうれしいですね。商売は日本の方がやりやすいと思いますよ。政府がしっかりとしているから手続きや情報公開が楽だし、お客さまも寛大です。

レストランを開業したのは、母が長いことレストランで働いていたから。私にとつては母が働く女性のロールモデルで、母のように起業したいと子どものころから思っていました。それに、レストランなら母も日本に来て、楽しみながら手伝ってくれるかな、と考えたのです。実際は三か月で帰ってしまいましたけど。習慣の違いに慣れることができなかったのですね。

私は一人っ子で、お皿も洗ったことがなかったんです。それでも日本に留学してこれまでなんとかやってこられました。学生の頃はまだ国際電話が高かったので家族との連絡は手紙でしたが、おかげで父母とも祖父母とも、いいコミュニケーションが取れたと思います。手紙だと、話す時よりも伝えやすいことがありますから。日本で誤解を受けた時に愚痴をこぼすと、母に「いつも笑顔で」と言われま

した。ずっとそれを守っています。

祖父母の時代、裕福な家庭の女性はみな専業主婦でしたが、両親は文革世代で、男女平等は徹底しています。現在も働きたいという女性が多いですが、でも人それぞれですね。

一人っ子政策のため、子育ては両親ばかりでなく祖父母もやります。一緒に住んでいなくても手伝いに来るんです。上海では、男性は家を持たないとなかなか結婚できませんが、今は土地バブルなので、給与に比べて高すぎるローンを組んだりして大変そう。

静岡の女性は暢気ですね。みんなタイプが似ているし、東京などに比べてもファッションは保守的で、かつ平均的。私も静岡に来てからだんだん“人目”を気にするようになりました。慣れると確かに楽だし、周囲に配慮できるように成長したと言えるかもしれません。でもそれがいいかどうか……。

蘇州の女性の前向きで、価値観がストレー
ト。生活が厳しいので、悩みは単純だし目標
もはっきりしています。日本の女性の悩みは、
豊かさのため選択肢が多すぎるのが理由の
一つではないでしょうか。

日本の男性はやさしいけれど、根底では女
性を対等じゃないと考えているように見えま
す。「オイ、お茶」とか言って女性にお茶を淹
れさせるでしょう？ 中国では男性がお茶を
淹れますよ。それから私の名刺、肩書がマネ
ージャーとなっていていますが、これは、日
本で三十代の女性が経営者を名乗っても、あ
まり信用されないからなんです。

三〇年後にも残れる経営を

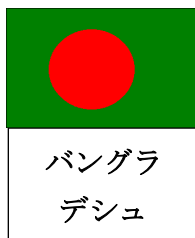
現在の私は日本に来たから作られたと思っ
ています。だから、日本で日本人から受けた
親切を、ほかのアジアの人たちにもおすそ分

けしたい。それに企業の社会的責任、という
ことも考えますから、アジアをもっとよくす
るための活動もして行きたいと思っています。大
学で開発経済を勉強したのもそのためです。
アジア各国が国際分業と連携をすすめて、よ
り豊かに、国際協調が実現された地域になっ
たらいいですね。

やっぱり教育が大事です。正確に言うと教
養が、かな。中国の若い世代は留学もずっと
自由になったし、どんどん外に行ってみてほ
しい。私は五十歳になったら、東南アジアに
学校を作るのが夢なんです。

もちろん、この店を広げることも考えてい
ますよ。起業した三十社のうち、三十年後ま
で残るのは一社のみと言われていますから、
その一社になりたいものです。

（聞き書き 佐久間）



番外編

静岡から世界へ

ニアズ・アハメドさん

静岡で起業

日本に来たのは、もう二〇年前です。国際
ことば学院の二期生でした。卒業後、東京で
専門学校に通い、就職しましたが、二〇〇
四年、静岡に戻ってシズナールという会社を
興し、ハラルフードやアジアの食材を販売
するシュクリアストアを開きました。シズナ
ールという名前は、私の故郷ナルシリと静岡
をつなげたものです。

その後、バングラデシユ料理店「ベンガル
キッチン」を出しました。バングラデシユは
独立してからまだ四〇年しかたっていない、

若い国です。独特の料理というものはまだありません。あるのはコルカタまで含めたベンガル地方の料理。ベンガルなら日本人も知っている名前ですから、ベンガルキッチンにしたのです。

お客の半分くらいはイスラム圏から来た学生です。インドネシア、マレーシア、ミャンマーなどですね。ミャンマーにもムスリムはいますよ。学生さんのためにできるだけ安く提供しようと、ランチは五〇〇円からに設定しています。静岡県立大学の食堂にもハラールフードを提供しています。

もちろん、この店の食材は全部ハラールフードです。夜にはお酒も出しますけれど、まあそれはちよつと別の話で。ハラールフードは東京の間屋から仕入れていましたが、最近ハラルマークのついた食材が静岡でも出るようになりました。問屋さんが知らずに

仕入れているようですね。ニッショクとかでもよく見かけます。この間はベトナムのクッキーでハラールマークの付いたものを見つけましたよ。

ハラールフードで世界へ

いま、静岡県立大学国際関係学部の富沢先生からの協力を得て、ハラールフードを売るためのベンチャー企業を興そうとしているんです。日本の食材をイスラム圏の国に売るための会社です。ハラールフードをイスラム圏から輸入するんじゃないやありませんよ。逆です。

ハラールマークを得るためにはいろいろ資格や検査が必要なのですが、そうした問題をクリアするためのNPOも立ち上げました。『NPO法人・富士山から世界』です。この名前にしておけば、富士山静岡空港をネット

検索すると一緒に出てくるでしょう？ ええ、静岡空港と一緒にPRできればと思っています。

今ハラルマークを得ようとするとな古屋まで行かなければなりません、このNPOができれば静岡でできる。ずいぶんやりやすくなるでしょう。マーク認証のほかに、販売や売り方の助言もします。この企画で、静岡市の創業支援施設・S O H O しずおかのビジネスコンテストに応募しました。最終審査に残った十組の中に選ばれましたよ。最終審査は二月一九日にあります。

静岡の何を売るかつて？ まず、お茶ですね。ハラルマークを取った会社が、すでに二、三か所あります。それから豆腐やトーフケーキ。ノンカフェインの大豆コーヒーマも予定しています。化粧品もありますね。厳格なムスリムは化粧品もノンアルコールのものを

使いますから。すでにマレーシアから注文が来ています。

こうした事業に関心を示している企業が、現在県内で五〇〇六〇社くらいあるのでしょうか。主に県立大学で紹介してくれたものです。

アジア諸国との交流を

いま、国際ことば学院の評議員もしています。学校法人の規定で、評議員には卒業生も参加することになっているので、その枠です。評議会では経営方針などを協議します。ことば学院は、日本語学校のほかに言語専門学校も発足させました。日・中・韓・英の四ヶ国語を話せる通訳を育てるためです。これからは近隣諸国との交流がますます大切になってくるので、中国語・韓国語は重要です。もつと日本人学生にも来てほしいのですが、将

来のことを不安がるのか、まだ少数なのが残念です。

あと、学校とは違いますが、外国人のために安く部屋を借りられる相談窓口を作ろうと考えています。外国人が不動産を借りるのは、日本人の保証人を立てなければならぬとか、保障会社との契約に2万円近く必要とか、いろいろ大変なんです。その辺をうまくクリアできるようにシステムがあれば、みんな助かるでしょう。

(聞き書き 佐久間)

女性へのインタビューという趣旨からは外れますが、アハメドさんのお話はぜひ紹介したかったので、番外編ということで付け加えました。アハメドさんは静岡在住外国人の情報に詳しいので、何かあったら、いろいろ相談にのってくれると思います。

SOHOしずおかビジネスコンテスト 応募概要

「ハラール食を静岡から世界へ」

国内に滞在するイスラム教徒向けに様々な日本企業と提携してハラール商品の認証制度の確立とその販売支援を提供するビジネスを事業の目的としています。ハラール先進国であるマレーシアでの認証を確立した上で、ASEAN 諸国への販路開拓の提供を実施し、さらに中東諸国等のイスラム教国の認証を日本国内(静岡)にて認定方法を計画しています。

東京で開催される事が決定した「東京オリンピック」には、世界中からイスラム教徒の来日が予想されます、今からその準備を進めるしかけを実践していきます。